



ナデシコ（撫子） 三村 千秋

－ こだわりについて －

F君は中学校1年生。自閉症の診断を受けており、小学校から自閉症・情緒障害特別支援学級に在籍、小学校から療育も受けているまじめで素直な子どもです。

中学校入学後は、クラスの友達とも打ち解け、理科や美術が得意で、とことんこだわって作品を作ったり、興味のある探究をしたりと、中学生活になじんできました。でも、小学校とは少し異なり、勉強で悩みが出始めました。

「ノートのマス目に書かないと気になり、何回も消し直す。」「テストで、1番の問題からやらないと気が済まず問題の半分で時間がきてしまう……。」「几帳面な反面、こだわりでつまずきがみられるようになったのです。

きちんと理解できているのにテストでは力が発揮できない……。

イライラするほど、そうしないと気が済まなくなるという悪循環に陥ってしまいます。中学校になると、高等学校への進学を意識して定期テストを受けていくことや宿題（課題提出）が評価の対象となります。これまで自分のペースで行っていたことが、「50分で行うこと」や「問題用紙を読んで解答用紙に記入すること」が求められます。これらに対しては、反復によるトレーニングや「合理的配慮」を申請しテスト時間の15分延長する仕組みを活用できます。（高校入試でも申請できます）

そこで担任の先生は、この「つまずき」を「折り合いをつけるチャンス」と捉え、後期の「個別の指導計画」に盛り込み、保護者や他の教科の先生方と共有し取り組むことにしました。こだわりを完全に失くすことはできなくても、「折り合い」をつけることはできます。困ったときこそ、指導のチャンス、成長のチャンス！！こうした発想を大切にしたいものです。

困ったときには、学校と連携しお子様の成長を育むチャンスかもしれません。

※個別の指導計画とは

小・中学校の特別支援学級では、学習面、生活面、コミュニケーション、社会性・行動、得意なこと、興味・関心や実態に応じた目標・支援内容・評価を具体的にまとめた計画：強みや可能性を生かしながら何ができるようになるか、学校がどう支援するかを記す「個別の指導計画」を一人一人に作成することになっています。保護者の方と共有し、定期的に目標や手だてを見直し、スモールステップで子どもの成長を支援するものです。

個別面談

皆様にご心配されている子育て相談や就学相談など、クォーレプレミオでは対応が難しかった部分を三村先生にお願いし、個別相談をしていただけることになりました。

三村先生は、数々の実績とご経験をお持ちの方で、今もなお、広島大学客員教授などご多忙な毎日を送られている中、クォーレプレミオの療育に賛同してくださり、ご協力していただける運びとなりました。

Zoomでのオンライン面談も可能です。

<https://airrsv.net/qole-hogosyamendanyoyaku/calendar>

↑こちらから予約が可能です。

詳細は教室にお尋ねください。



お知らせ

Instagram・Facebookの更新が始まりました！

是非ご覧ください！！

クォーレプレミオのことをさらに詳しく、ブログ随時更新中！

クォーレプレミオ ブログ

検索

